

Annual Report

2008～2009



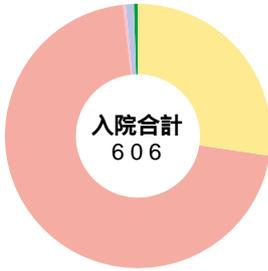
DATA FILE

CONTENTS

入院状況／入院相談状況／入院時疾病状況／退院状況	2
医療連携と入院疾患／入退院時食事形態と比率	3
入退院時のADL評価／事故届事例分類	4
退院時アンケート結果	5
リハビリテーションサービスの種類・概要／入院リハビリの実施状況とマルチルームの利用状況／ SKIPトレーニングセンター利用状況	6
在宅サービスの拠点概要および利用状況／各種保健事業	7
各教室実施一覧／医療法人真正会 行事報告	8～9
Financial Summary	10
医療法人 真正会のあゆみ	11

●入院状況 (2008年度)

霞ヶ関南病院・入院状況 (単位:件)

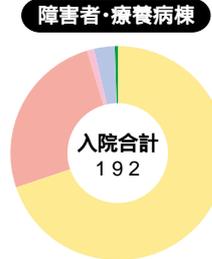


自宅入院	166
他院(大学・一般)転入	429
他院(療養)転入	2
介護施設	6
その他	3

病棟別内訳 (単位:件)

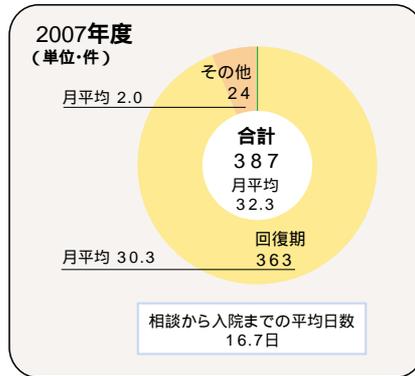
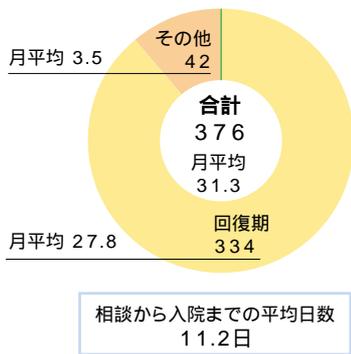


自宅入院	32
他院(大学・一般)転入	380
その他	2



自宅入院	134
他院(大学・一般)転入	49
他院(療養)転入	2
介護施設	6
その他	1

●入院相談状況 (2008年度)

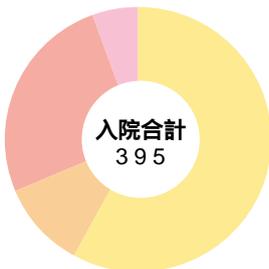


※回復期とは？

主に脳血管障害や骨折などの病気で、病状が落ち着きはじめ安静が必要でなくなった状態で、発症から1~2カ月経過し、およそ半年の期間を指します。この時期では集中的なリハビリテーション訓練がとても効果的と言われています。

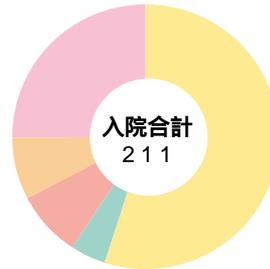
●入院時疾病状況 (2008年度)

回復期リハビリテーション対象患者 (単位:件)



脳血管疾患	229
廃用症候群	42
運動器疾患	102
その他	22

回復期リハビリテーション対象外患者 (単位:件)



脳血管疾患	116
呼吸器系疾患	9
運動器疾患	17
廃用症候群	16
その他	53

退院状況 (2008年度)

霞ヶ関南病院・退院状況 (単位:件)



自宅	391
特別養護老人ホーム	13
グループホーム/有料老人ホーム等	12
老人保健施設	62
他院(大学・一般)転出	66
他院(療養)転出	24
永眠	36

回復期病棟

平均在院日数	116.6日
平均入院日数	68.6日
自宅退院率(含施設)	72.1%

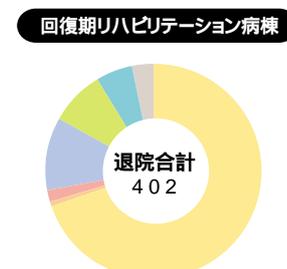
療養病棟

平均在院日数	197.2日
平均入院日数	560.7日
自宅退院率(含施設)	51.1%

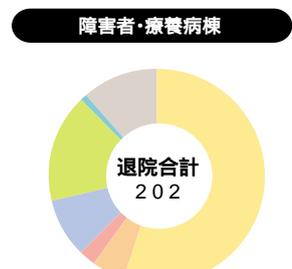
障害者等一般病棟

平均在院日数	113.2日
平均入院日数	239.9日
自宅退院率(含施設)	71.1%

病棟内訳 (単位:件)



自宅	280
特別養護老人ホーム	3
グループホーム/有料老人ホーム等	7
老人保健施設	44
他院(大学・一般)転出	33
他院(療養)転出	22
永眠	13

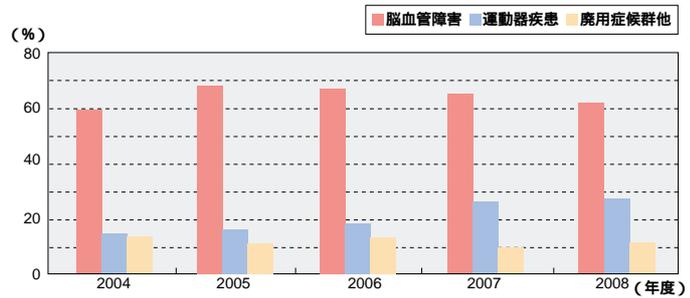


自宅	111
特別養護老人ホーム	10
グループホーム/有料老人ホーム等	5
老人保健施設	18
他院(大学・一般)転出	33
他院(療養)転出	2
永眠	23

回復期リハビリテーション病棟
紹介元医療機関



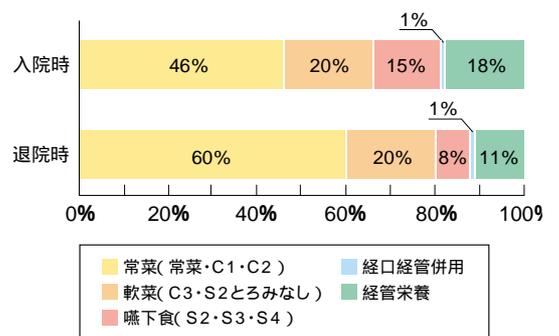
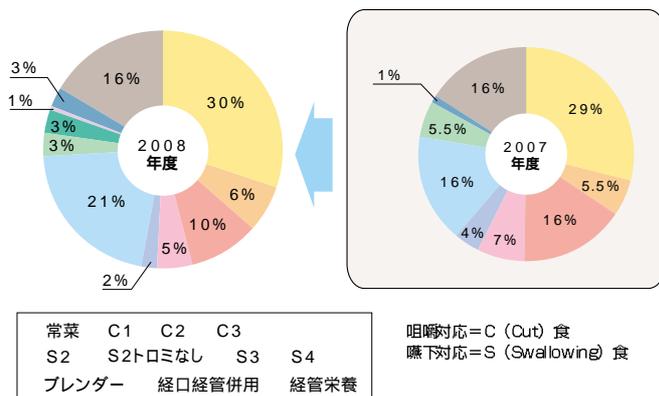
回復期リハビリテーション病棟の入院疾患種別



10km圏内医療機関 (10名以上の紹介)

- | | |
|-----------------------|-----|
| ①石心会狭山病院 (狭山市) | 68名 |
| ②武蔵野総合病院 (川越市) | 51名 |
| ③埼玉医科大学総合医療センター (川越市) | 47名 |
| ④埼玉医科大学国際医療センター (日高市) | 41名 |
| ⑤関越病院 (鶴ヶ島市) | 33名 |
| ⑥池袋病院 (川越市) | 25名 |
| ⑦三井病院 (川越市) | 15名 |
| ⑧赤心堂病院 (川越市) | 12名 |

●食事形態と比率 / 入退院時食事形態比較

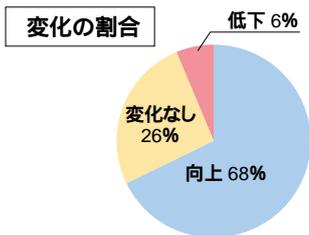
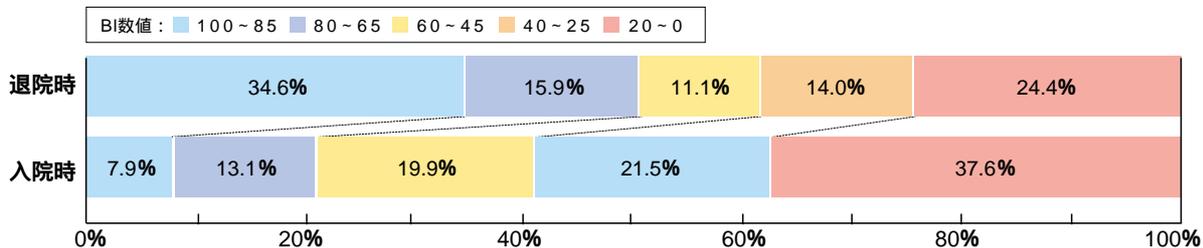


●食事形態の目安 (参考)

- 常食** 咀嚼能力・嚥下能力に問題のない方。家庭で食べる大きさ。
C1・S1 C1は咀嚼レベル1、S1は嚥下レベル1の方に対応。常菜を補助的にカット。
C2・S2 C2は咀嚼レベル2、S2は嚥下レベル2の方に対応。1~1.5cm程度につぶしたり、細かく刻んだ軽菜食。
C3・S3 C3は咀嚼レベル3、S3は嚥下レベル3の方に対応。0.2~0.3cm程度に刻んだ軽菜食。
S4 嚥下レベル4の方に対応。つぶした軟菜食をさらにミキサーにかける。
流動・S5 流動は内科系疾患の方に対応した単純流動食。S5は食事訓練をする方に対応。流動、ゼリー食。

●入退院時のADL評価 (BI: パーセルインデックス2008年度)

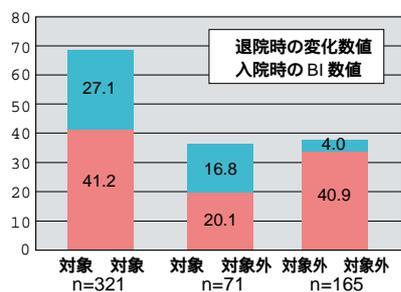
※評価対象: 通常退院患者558名



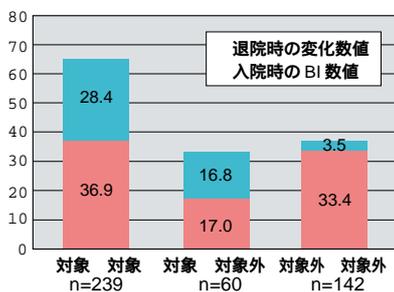
■パーセルインデックスとは?

ADLの評価に使用される尺度。食事、車椅子とベッド間の移動、トイレ、洗面、入浴、歩行、階段の昇降、着替え、排便、排尿等がどの程度できるか、日常生活を10項目に分けてチェック。合計した数値(100点満点)をその人の日常生活度として評価する。

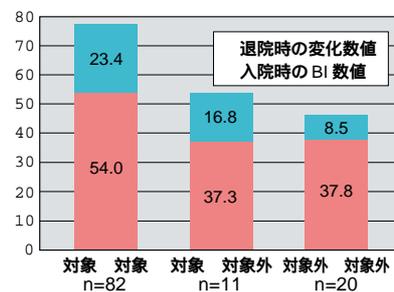
入院時と退院時のBI平均値(BIがどれだけ上がったか)



脳血管リハ患者のBIの変化

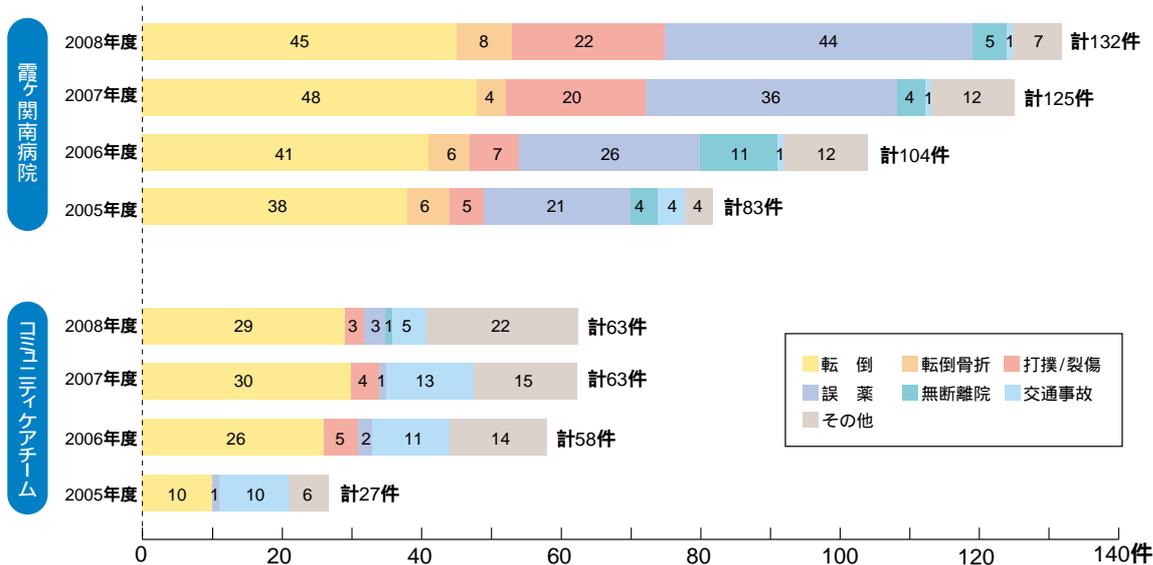


運動器リハ患者のBIの変化

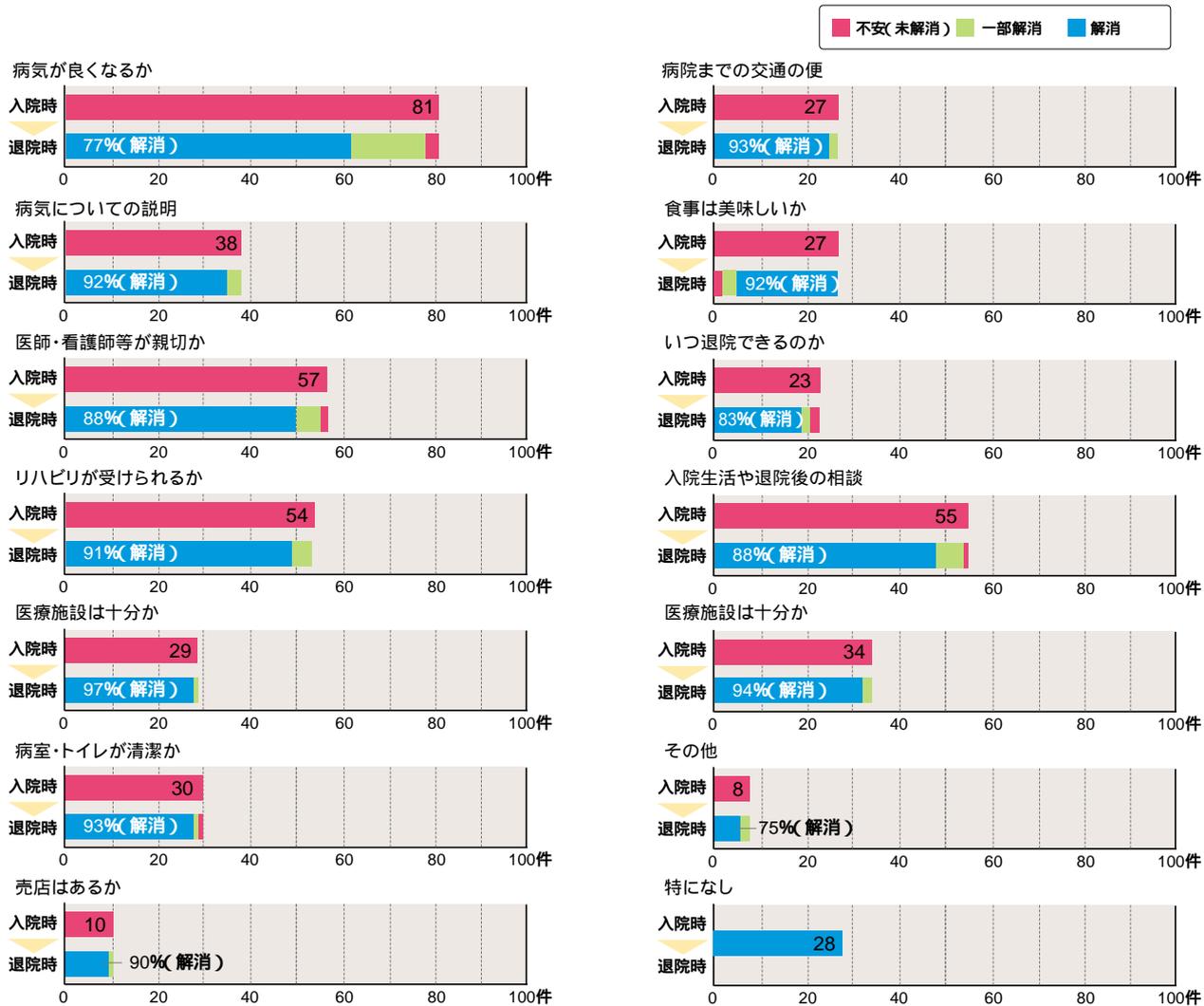


対 象:回復期リハビリテーション対象患者 対 象 外:回復期リハビリテーション対象外患者

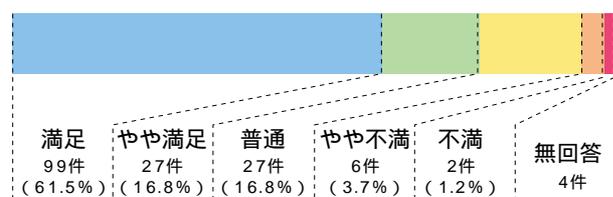
●事故届事例分類 (過去3年間の比較)



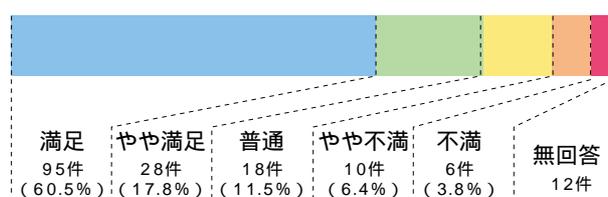
●入院にあたっての不安と退院時の解消度



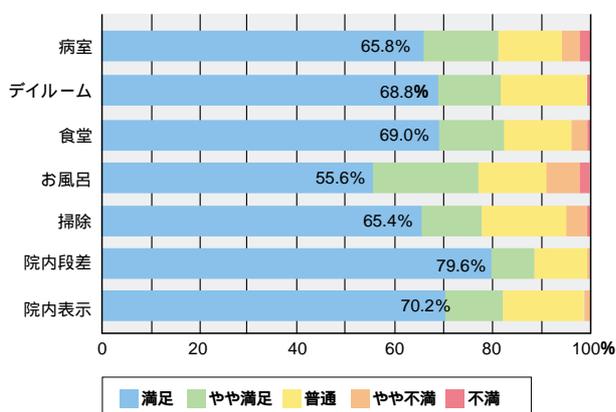
●食事に対する満足度



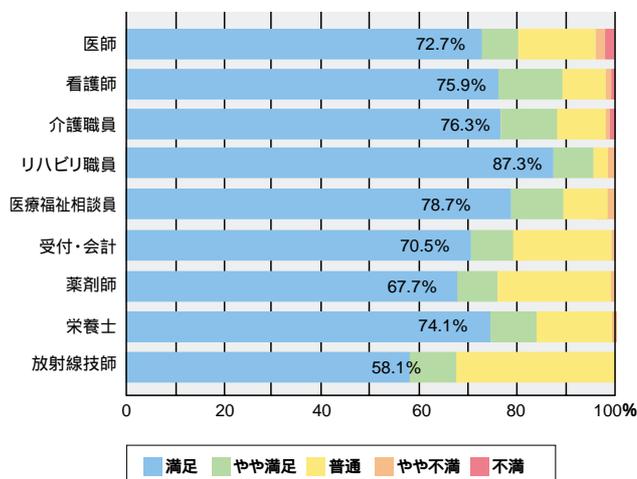
●病院や入退院の説明に対する満足度



●院内環境について



●職員の対応について



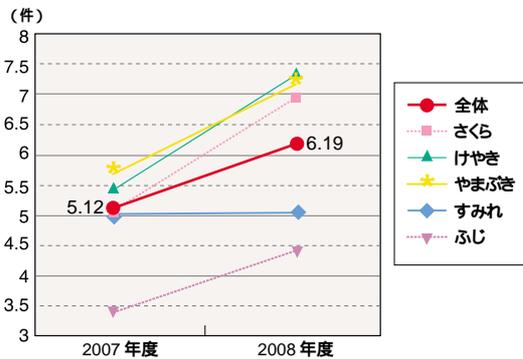
●リハビリテーションサービスの種類・概要

名称	概要・実施機関	実施場所・内容	保険区分	スタッフ体制・コンセプト等
入院リハ	入院によるリハビリテーション ・霞ヶ関南病院(脳血管・運動器、総合リハ承認施設)	リハビリテーション室や病棟、マルチルーム等、病院内・外で実施 最大限の身体機能改善/生活機能の改善・実用化 体力と活動性の向上/活動と参加の促進/自己管理の確立 在宅生活や他サービスへの橋渡し	医療保険	PT 33名、OT 23名、 ST 19名、RW 6名
在宅リハ	外来 外来通院によるリハビリテーション ・霞ヶ関南病院内			
	通所 通所リハビリテーション [デイホスピタル]・霞ヶ関南病院内 要介護認定者を対象 [デイリハビリテーションセンター]・霞ヶ関中央クリニック内 要介護認定者を対象	[デイホスピタル] デイホスピタルを拠点とし、リハビリテーションセンター、トレーニングセンター等で実施。生活機能向上や自己管理を目標に、短時間型個別リハビリを中心として、個々のニーズに対応したプログラムを提供。 [デイリハビリテーションセンター] デイリハセンターを拠点として、リハビリテーションセンター、アクティビティルーム等で実施。重度障害や認知症の方から運動の自己管理を目指す方まで、状態の異なる方の生活機能の維持向上を目標に、さまざまなプログラムを提供。	介護保険	PT 12名、OT 9名、 ST 7名、RW 1名 一元化されたリハビリテーションサービスとして、共通のリハビリテーションマネジメントに基づき、短期集中リハの活用、柔軟なサービスの組み合わせを行い、在宅生活をサポート。
	訪問 自宅訪問によるリハビリテーション ・訪問看護ステーション「スマイル」	外出が困難な方やご自宅での生活上何らかの支障のある方に対し、実生活の場でのリハビリテーションを提供	医療保険 介護保険	かかりつけ医、看護、介護、ケアマネジャーなど様々な在宅サービスの関係者と協力してサービス提供を行う。
委託事業	川越市から委託された事業 ・川越市在宅者機能訓練事業 ・川越市通所型介護予防事業	霞ヶ関南病院内 リハビリテーション室を中心に実施。 自宅から通い、機能訓練や介護予防のサービスを受ける。	地域支援事業	
予防リハ	SKIPトレーニングセンター 健康増進と介護予防のサービスを提供 ・霞ヶ関南病院内	SKIPトレーニングセンター(医療法42条疾病予防施設)において、予防をキーワードにしたサービスをリハビリテーションの一環として提供 生活習慣病(メタボリックシンドローム)改善と予防/虚弱者の介護予防 卒業後リハビリテーション/運動をキーワードにした様々な生活改善	自費	PT 1名、HFP 8名 からだづくり、出かける場づくり、仲間づくりがコンセプト

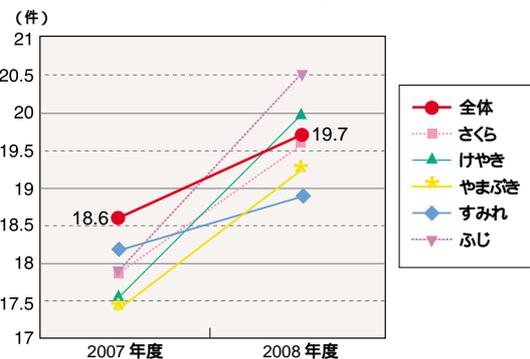
2009年6月末現在

●入院リハビリの実施状況とマルチルームの利用状況(2008年度)

●患者さま一人当たりの実施単位数



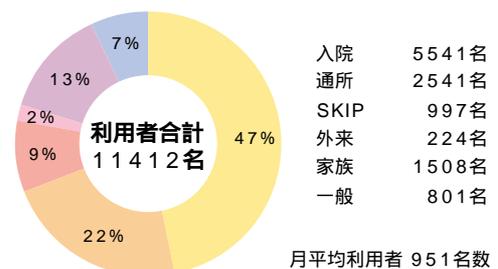
●スタッフ一人当たりの実施単位数



●脳血管疾患と運動器疾患の割合

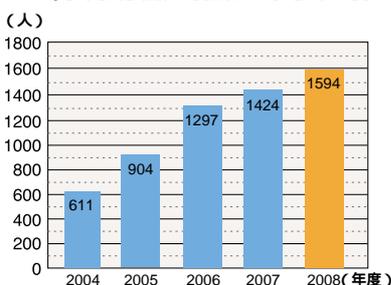


●マルチルーム利用状況

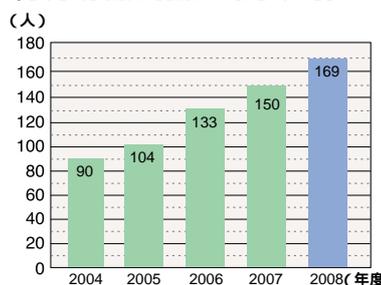


●SKIPトレーニングセンター利用状況(2008年度)

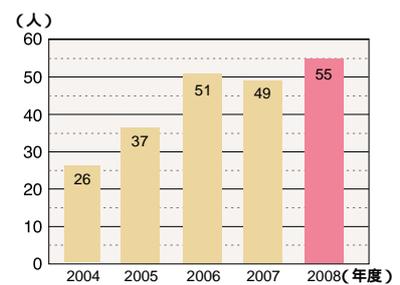
●延べ総利用者数推移(月平均)



●総利用者数推移(月平均)



●日割利用者数推移



事業所(部署名)	サービス種別	月平均利用者数	一日当たり平均件数	平均介護度	スタッフ数
霞ヶ関中央クリニック 訪問医療	訪問診療 (医療保険・介護保険)	148名	10.9名	3.13	医師(兼)12名/看護師1名・(非)1名/事務員1名
居宅介護支援事業所 霞ヶ関南病院	居宅介護支援事業 (介護保険)	366名	/	2.58	主任介護支援専門員3名・ 介護支援専門員10名・(兼)2名/事務員1名
川越市地域包括支援センター かすみ	川越市委託事業 (担当地区:大東 霞ヶ関)	87名		-	看護師1名/主任介護支援専門員1名/介護支援専門員(兼)1名 事務員(兼)1名/社会福祉士2名
訪問看護ステーション スマイル(看護)	訪問看護 (介護保険・医療保険)	181名	39.0名	2.70	看護師9名・(非)12名/理学療法士3名/作業療法士2名 言語聴覚士2名/事務員1名
訪問看護ステーション スマイル(リハビリテーション)	訪問リハビリテーション	100名	28.1名		
ホームヘルパーステーション コール	訪問介護 (介護保険)	77名	29.0名	2.10	介護福祉士9名/ヘルパー2級9名
ケアラウンジ南大塚	通所介護 (介護保険)	95名	24.8名	1.93	看護師1名・(非)2名/介護職3名・(非)9名/理学療法士1名 事務員1名/相談員2名/管理栄養士(兼)1名/運転手(兼)2名
デイリビング		188名	45.3名	2.12	看護師1名・(非)2名(内1名兼任)/介護職9名・(非)3名 理学療法士(兼)3名/作業療法士(兼)1名 言語聴覚士(兼)1名
SKIPトレーニングセンター	トレーニングセンター	186名	58.5名	-	理学療法士1名/健康運動指導士3名 実践健康運動指導者1名/トレーナー3名
健診センターかすみ	人間ドック・健康診断	686名	/	-	医師(兼)4名/看護師3名・(非)2名/事務員5名/ 放射線技師(兼)2名
霞ヶ関南病院 外来リハビリテーション事業所	外来リハビリテーション	77名	23.0名	-	医師(兼)2名/看護師(兼)1名/理学療法士(兼)28名 作業療法士(兼)21名/言語聴覚士(兼)10名
デイホスピタル	通所リハビリテーション	236名	56.6名	1.95	医師(兼)5名/理学療法士4名/作業療法士3名 言語聴覚士2名/健康運動指導士(非)1名 事務員1名・(兼)1名/相談員2名・(兼)1名 管理栄養士1名/歯科衛生士(兼)3名/運転手4名・(兼)9名
デイリハビリテーションセンター		92名	21.0名	4.15	医師(兼)2名/看護師3名・(非)2名 介護職5名・(非)9名/理学療法士2名/作業療法士3名 言語聴覚士2名/事務員(兼)1名/相談員1名 管理栄養士(兼)1名/運転手(兼)6名

●介護者交流会

計2回開催

開催日	内容	参加数
4月20日	バイクング	93名
11月1日	グループディスカッション	29名

●出張講座・相談

実施日	内容	出張先
5月15日	包括紹介・介護予防説明	大東地区民生委員連絡協議会
5月16日	在支同行挨拶・相談窓口紹介・介護保険説明	大東地区民生委員連絡協議会
6月5日	地域を見守る活動について	配食ボランティアやまぶき 総会
6月16日	介護予防体操等の紹介・交通安全注意喚起	南台 老人憩いの家
7月8日	介護保険サービスについて(寸劇)	上野地区寿会
7月22日	夏の体調管理について・交通安全注意喚起	真寿園 健康体操教室
8月23日	高齢者体操・介護予防体操の紹介	ボランティアビューロ南
10月10日	介護保険の説明(仕組み・費用等)	大東地区自治会役員会
10月16日	介護予防教室開催支援・交通安全注意喚起	南台自治会館

●担当圏域包括ケア会議の開催

実施日	内容	場所	参加数
5月20日	「高齢者虐待防止について考える」～高齢者の権利を守る～ 講師:埼玉県高齢福祉課 飯田朋宏 小林ミドリ	大東公民館	45名
7月15日	「連携について」～改めまして、初めまして～ お互いの役割と地域活動を知ろう	霞ヶ関南病院	50名
9月21日	「地域を見守るネットワークについて」 講師:十文字学園女子大学人間生活学部 佐藤 陽先生	霞ヶ関南病院	43名
11月6日	「地域の方々に配布する冊子を作ろう」	霞ヶ関南病院	34名
1月21日	「高齢者の交通安全について」 講師:埼玉県警察本部 交通部交通企画課	霞ヶ関南病院	40名
3月26日	「地域助け合い便利帖」を広めよう! ～リーフレットの活用の仕方と今後の活動について～	霞ヶ関南病院	44名

●ケアマネジャー情報交換会

実施日	テーマ	講師等	参加数
4月	後期高齢者医療制度について	川越市医療助成課	25名
5月	一般高齢者施策・在宅介護支援センター	在支つばさ・在支真寿園	23名
6月	特定高齢者施策について	包括かすみ	17名
7月	後期高齢者医療制度について	県保健医療部国保医療課	18名
8月	特定施設について	有料老人ホームすこやか	14名
9月	財産管理について	包括かすみ	13名
10月	アセスメントについて	包括みなみかぜ	16名
11月	口腔機能アセスメントについて	川越市予防歯科センター	6名
12月	高齢者の栄養アセスメントについて	霞ヶ関南病院	13名
1月	高齢者の運動機能アセスメント	池袋クリニック	15名
2月	ターミナルケースのアセスメント	訪問介護ステーション スマイル	21名
3月	認知症のアセスメントについて	アダースあいな	14名

●担当圏域包括ケア会議の開催

実施日	内容	場所	参加数
12月20日	認知症を学び・体験し、考えよう!「認知症って何だろう」	大東公民館	17名
12月20日	認知症を学び・体験し、考えよう!「認知症って何だろう」	霞ヶ関公民館	30名
1月25日	生活の中で楽しく取り組める認知症予防(6包括合同)	やまぶき会館	355名
3月7日	介護予防まつり	西後楽会館	152名

実施教室数：89教室 参加者総数：791名

開催日	開催教室名	内容(テーマ)	参加数	開催日	開催教室名	内容(テーマ)	参加数
4/5	コンチネンス体操教室	「女性のからだに効くエクササイズ」	5	9/17	らくらくイス体操教室	「体を動かしリフレッシュしよう!!」	8
4/9	パソコン教室	「Excelを使って家計簿を作ってみよう」	10	9/20	ツボ踏みステップ教室	「ツボを刺激して血行促進と脂肪燃焼効果」	7
4/12	らくらくイス体操教室	「体を動かしリフレッシュしよう!!」	8	9/25	糖尿病教室	「食事療法」	18
4/15	//	//	17	9/27	福祉用具講座	「使ってみよう!便利グッズ」	4
4/19	ツボ踏みステップ教室	「ツボを刺激して血行促進と脂肪燃焼効果」	9	9/27	アロマストレッチ教室	「自然の香りを利用して心も体もリフレッシュしよう」	7
4/23	パソコン教室	「Excelを使って家計簿を作ってみよう」	10	10/4	チューブ体操教室	「チューブを使って筋肉を刺激し、体力アップしよう!」	6
4/26	ペットボトル体操教室	「身近なものを利用して体を動かしましょう」	7	10/11	らくらくイス体操教室	「体を動かしリフレッシュしよう!!」	5
4/26	糖尿病教室	「運動療法」	24	10/18	糖尿病教室	「体験クッキング」	18
4/27	手作りパン教室	「皆で楽しくパンを作って、試食しよう!!」	5	10/18	ツボ踏みステップ教室	「ツボを刺激して血行促進と脂肪燃焼効果」	4
5/10	らくらくイス体操教室	「体を動かしリフレッシュしよう!!」	7	10/21	ペットボトル体操教室	「ペットボトルを使って、快適カラダづくり」	7
5/17	コンチネンス体操教室	「女性のからだに効くエクササイズ」	6	10/23	糖尿病教室	「あれ?飲んだっけ?」～薬を忘れた時の対処法・防止法～	10
5/20	らくらくイス体操教室	「体を動かしリフレッシュしよう!!」	9	11/1	チューブ体操教室	「チューブを使って筋肉を刺激し、体力アップしよう!」	7
5/24	ツボ踏みステップ教室	「ツボを刺激して血行促進と脂肪燃焼効果」	5	11/8	糖尿病教室	「バスハイク」	11
5/24	糖尿病教室	「ウォーキング」	7	11/8	ペットボトル体操教室	「ペットボトルを使って、快適カラダづくり」	2
5/24	高次脳機能障害教室	「高次脳機能障害を知ろう」	7	11/15	ツボ踏みステップ教室	「ツボを刺激して血行促進と脂肪燃焼効果」	2
5/25	絵手紙教室	「季節の物を使って絵手紙を作成」	17	11/18	らくらくイス体操教室	「体を動かしリフレッシュしよう!!」	18
5/31	ペットボトル体操教室	「身近なものを利用して体を動かしましょう」	2	11/22	アロマストレッチ教室	「自然の香りを利用して心も体もリフレッシュしよう」	5
6/5	介護者講習会	「役立つ介護の工夫」在宅編	8	11/23	絵手紙教室	「季節の物を使って絵手紙を作成」	15
6/7	らくらくイス体操教室	「体を動かしリフレッシュしよう!!」	9	12/6	糖尿病教室	「お食事会」	41
6/14	コンチネンス体操教室	「女性のからだに効くエクササイズ」	7	12/6	ツボ踏みステップ教室	「ツボを刺激して血行促進と脂肪燃焼効果」	4
6/17	らくらくイス体操教室	「体を動かしリフレッシュしよう!!」	11	12/13	らくらくイス体操教室	「体を動かしリフレッシュしよう!!」	4
6/21	ツボ踏みステップ教室	「ツボを刺激して血行促進と脂肪燃焼効果」	2	12/20	ペットボトル体操教室	「ペットボトルを使って、快適カラダづくり」	2
6/26	糖尿病教室	「フットケア・半期評価」	9	12/25	糖尿病教室	「お楽しみ会」	15
6/28	ペットボトル体操教室	「身近なものを利用して体を動かしましょう」	3	12/27	アロマストレッチ教室	「自然の香りを利用して心も体もリフレッシュしよう」	3
6/28	福祉用具講座	「使ってみよう!便利グッズ」	6	1/10	ペットボトル体操教室	「ペットボトルを使って、快適カラダづくり」	9
6/29	フラワーアレンジメント教室	「初めての方でも安心して参加できるフラワーアレンジメント」	6	1/17	チューブ体操教室	「チューブを使って筋肉を刺激し、体力アップしよう!」	5
7/5	ペットボトル体操教室	「ペットボトルを使って、快適カラダづくり」	4	1/21	ツボ踏みステップ教室	「ツボを刺激して血行促進と脂肪燃焼効果」	2
7/12	らくらくイス体操教室	「体を動かしリフレッシュしよう!!」	11	1/22	糖尿病教室	「糖尿病クイズ」	22
7/16	チューブ体操教室	「チューブを使って筋肉を刺激し、体力アップしよう!」	3	1/24	らくらくイス体操教室	「体を動かしリフレッシュしよう!!」	6
7/19	ツボ踏みステップ教室	「ツボを刺激して血行促進と脂肪燃焼効果」	5	1/31	アロマストレッチ教室	「自然の香りを利用して心も体もリフレッシュしよう」	6
7/24	糖尿病教室		13	2/7	ツボ踏みステップ教室	「ツボを刺激して血行促進と脂肪燃焼効果」	6
7/26	アロマストレッチ教室	「自然の香りを利用して心も体もリフレッシュしよう」	2	2/14	チューブ体操教室	「チューブを使って筋肉を刺激し、体力アップしよう!」	3
7/26	認知症教室	「認知症を知ろう!!」	10	2/18	ペットボトル体操教室	「ペットボトルを使って、快適カラダづくり」	2
7/27	手作りパン教室	「皆で楽しくパンを作って、試食しよう!!」	3	2/21	らくらくイス体操教室	「体を動かしリフレッシュしよう!!」	4
8/2	チューブ体操教室	「チューブを使って筋肉を刺激し、体力アップしよう!」	4	2/22	絵手紙教室	「季節の物を使って絵手紙を作成」	13
8/9	らくらくイス体操教室	「体を動かしリフレッシュしよう!!」	4	2/25	糖尿病教室	「食事療法の基礎について学ぶ」	32
8/13	ツボ踏みステップ教室	「ツボを刺激して血行促進と脂肪燃焼効果」	2	2/28	アロマストレッチ教室	「自然の香りを利用して心も体もリフレッシュしよう」	5
8/16	ペットボトル体操教室	「ペットボトルを使って、快適カラダづくり」	6	3/7	ペットボトル体操教室	「ペットボトルを使って、快適カラダづくり」	8
8/23	高次脳機能障害教室	「高次脳機能障害を知ろう」	1	3/14	チューブ体操教室	「チューブを使って筋肉を刺激し、体力アップしよう!」	5
8/23	アロマストレッチ教室	「自然の香りを利用して心も体もリフレッシュしよう」	3	3/18	らくらくイス体操教室	「体を動かしリフレッシュしよう!!」	8
8/24	絵手紙教室	「季節の物を使って絵手紙を作成」	15	3/21	ツボ踏みステップ教室	「ツボを刺激して血行促進と脂肪燃焼効果」	8
8/28	糖尿病教室	「合併症・目について」	13	3/22	フラワーアレンジメント教室	「初めての方でも安心して参加できるフラワーアレンジメント」	14
9/2	チューブ体操教室	「チューブを使って筋肉を刺激し、体力アップしよう!」	6	3/28	糖尿病教室	「運動療法」	48
9/7	フラワーアレンジメント教室	「初めての方でも安心して参加できるフラワーアレンジメント」	7	3/28	アロマストレッチ教室	「自然の香りを利用して心も体もリフレッシュしよう」	7
9/13	ペットボトル体操教室	「ペットボトルを使って、快適カラダづくり」	13				

2008年度 医療法人真正会 行事報告

4月	1・2日	新人研修
	20日	介護者交流会
	22日	職員レクリエーション・ボウリング大会
5月	20日	職員レクリエーション・バレーボール大会
6月	8日	バイキング (南病院)
8月	7日	BLENZ COFFEE 霞ヶ関南病院店オープン
	21日	夕涼み花火大会 (南病院)
9月	12日	敬老を共に祝う会 (南病院)
	12・13日	全国老人デイ・ケア連絡協議会 全国研究大会2008札幌
10月	1日	新人研修
	6～8日	リハビリテーション・ケア合同研究大会 福井2008
11月	22日	地域感謝祭 ふれあい広場
	24日～12月3日	オーストラリア研修 (シドニー・タスマニア)
12月	29日	真正会忘年会
1月	1日	新年 お屠蘇
2月	14・15日	全国回復期リハビリテーション病棟連絡協議会 全国研究大会2009大阪



地域感謝祭



BLENZ COFFEE 霞ヶ関南病院店オープン



オーストラリア研修 (シドニー・タスマニア)



各研究大会等における発表演題および演者

第18回全国老人デイ・ケア研究大会2008札幌

演 題	演 者
通所リハビリテーションにおけるパーキンソン病患者様への関わり ～ STの立場から～	永野さやか(言語聴覚士)
「座ることから始める重介護者の在宅支援」	河合 豊(介護福祉士)

リハビリテーション・ケア合同研究大会2008福井

演 題	演 者
パーキンソン病グループ「PEACE」におけるOTの関わり ～「明るくいいき過ぎそう!」を目指して～	薄木朋子(作業療法士)
回復期リハビリテーション病棟における発熱症例の検討	伊藤 功(医師)
回復期リハビリテーションにおける日常生活機能評価10点以上の「重症」患者の特徴について	米田明美(看護師)
認知症に対するチームでの取り組み	武藤 亮(作業療法士)
失語症患者における代償手段の積極的導入 第二報	森岡真衣(言語聴覚士)
下肢装具着脱動作自立に向けて	島田達也(理学療法士)
五感刺激を取り入れた病棟内カフェの試み ～遅延性意識障害のある患者にみられた変化～	中嶋直子(看護師)
在宅療養支援診療所と訪問看護の連携と今後の課題 ～難病末期の事例を通して～	増茂みどり(看護師)

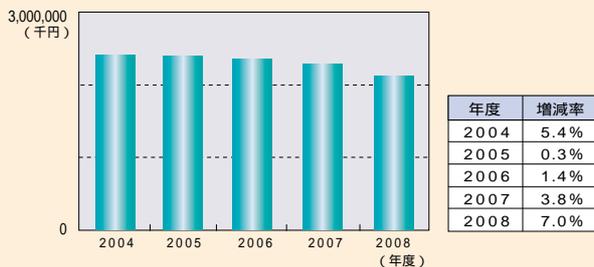
全国回復期リハ病棟連絡協議会研究大会(大阪)

演 題	演 者
平成20年度診療報酬改定での当院回復期リハビリテーション病棟の変化について	伊藤 功(医師)
ST介護者講習会の役割 ～家族支援の一環として～(第二報)	長澤紀子(言語聴覚士)
当院入院患者に対する転倒予防の取り組み 第二報 「わかたけ手帳」情報共有ツールとしての活用	染谷和久(理学療法士)
情動障害のある患者様に対するかかわり方の検討	小林加奈絵(作業療法士)

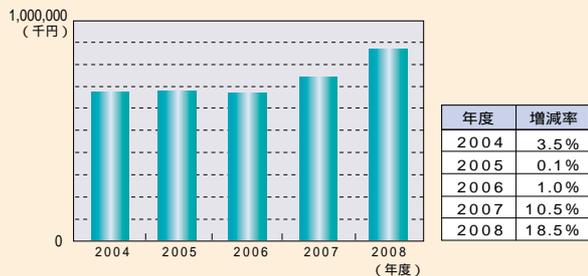
Financial Summary

主な収入

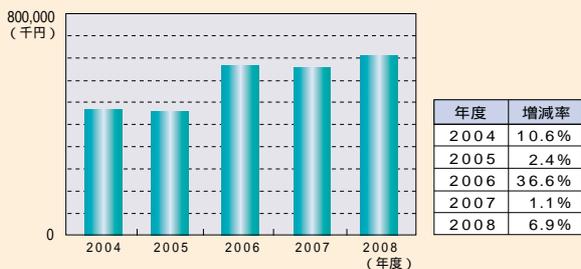
入院収入



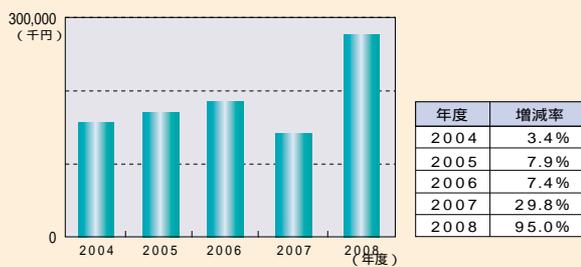
外来収入



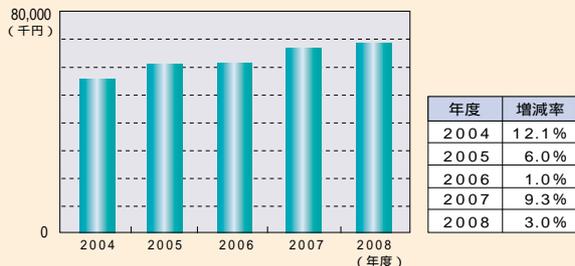
リハビリ収入



室料差額収入・その他収入

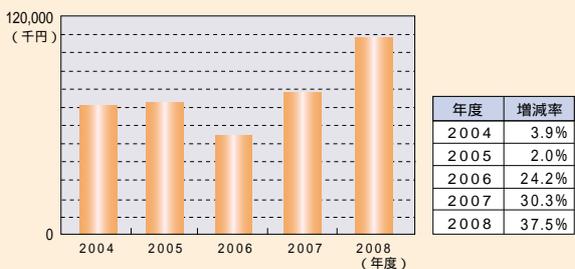


健康診断収入

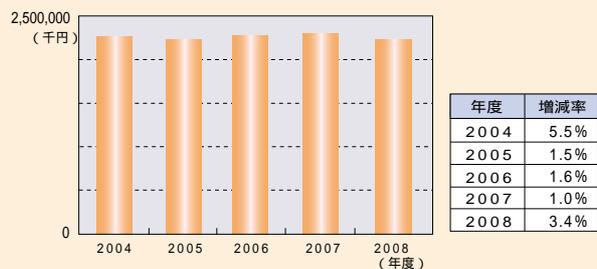


主な支出

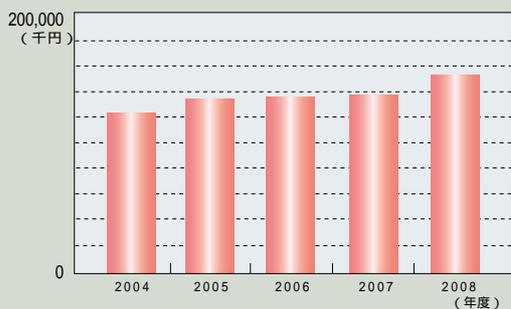
薬品費



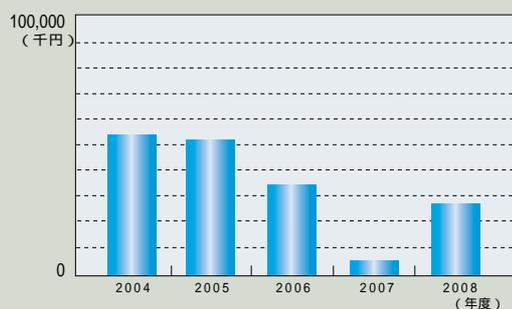
給与費



減価償却費



経常損益



1972年	(昭和47年)	霞ヶ関中央病院開設
1976年	(昭和51年)	病院ボランティア導入
1977年	(昭和52年)	特別養護老人ホーム真寿園設立
1978年	(昭和53年)	霞ヶ関中央病院 98床に増床
1980年	(昭和55年)	霞ヶ関中央病院 108床に増床
1980年	(昭和55年)	霞ヶ関中央病院 デイホスピタル設置
1982年	(昭和57年)	霞ヶ関中央病院 120床に増床
1982年	(昭和57年)	川鶴診療所開設
1984年	(昭和59年)	霞ヶ関中央病院 200床に増床
1985年	(昭和60年)	会員組織「かすみ会」設置(保健・予防)
1987年	(昭和62年)	霞ヶ関南病院開設(100床)
1988年	(昭和63年)	デイホスピタル、霞ヶ関南病院に移設
1988年	(昭和63年)	霞ヶ関中央病院 リハビリテーション部門承認(理学・作業療法)
1990年	(平成2年)	霞ヶ関南病院 在宅医療開始
1994年	(平成6年)	訪問看護ステーション「やさしい手」開設
1998年	(平成10年)	訪問看護ステーション「スマイル」開設
1998年	(平成10年)	霞ヶ関南病院、療養型病床(127床)認可
1998年	(平成10年)	霞ヶ関南病院・総合リハビリテーション施設認可
1999年	(平成11年)	霞ヶ関南病院・在宅介護支援センター「かすみ」開設
1999年	(平成11年)	霞ヶ関中央病院の外来機能を拡張、強化(一般36床、療養型50床)
1999年	(平成11年)	霞ヶ関南病院(療養型199床)
2000年	(平成12年)	ホームヘルパーステーションコール開設
2000年	(平成12年)	ホームヘルパー養成研修開始
2000年	(平成12年5月)	霞ヶ関南病院、回復期リハビリテーション病棟(やまぶき・42床)承認
2000年	(平成12年7月)	霞ヶ関南病院、回復期リハビリテーション病棟(さくら・42床)承認 計84床
2001年	(平成13年10月)	霞ヶ関中央病院、一般病棟36床を介護療養型病床へ 計86床
2001年	(平成13年10月)	霞ヶ関南病院、回復期リハビリテーション病棟(すみれ・37床)承認 計121床
2002年	(平成14年3月)	霞ヶ関南病院、回復期リハビリテーション病棟(けやき・37床)承認 計158床
2002年	(平成14年4月)	地域リハビリテーション広域支援センターの中核医療機関となる
2002年	(平成14年6月)	SKIPトレーニングセンター竣工
2003年	(平成15年5月)	安比奈クリニック開設
2004年	(平成16年5月)	霞ヶ関中央病院 医療療養病床へ 計86床
2004年	(平成16年7月)	通所介護「ケアラウンジ南大塚」開設
2005年	(平成17年10月)	霞ヶ関南病院 アネックス棟増築
2005年	(平成17年11月)	霞ヶ関南病院 財団法人日本医療評価機構 認定
2006年	(平成18年4月)	川越市地域包括支援センター「かすみ」開設
2006年	(平成18年7月)	霞ヶ関中央病院デイリビング(通所リハビリテーション) 開設
2006年	(平成18年7月)	霞ヶ関中央病院86床より77床へ
2006年	(平成18年9月)	川鶴診療所閉院
2007年	(平成19年4月)	障害者一般病棟(すみれ37床ふじ41床) 承認、計78床 回復期リハビリテーション病棟(けやき37床さくら42床やまぶき42床) 承認計121床
2007年	(平成19年8月)	霞ヶ関南病院外来棟オープン
2008年	(平成20年8月)	BLENZ COFFEE 霞ヶ関南病院店 open
2009年	(平成21年5月)	霞ヶ関南病院 通所介護「デイリビング」開設 霞ヶ関中央病院 通所リハビリテーション「デイ・リハビリテーションセンター」に名称変更
2009年	(平成21年6月)	霞ヶ関中央病院(77床) 閉院 霞ヶ関中央クリニック(19床) 開設 安比奈クリニック閉院(霞ヶ関中央クリニックへ統合)



真正会
Shinseikai

rehabilitation & community care

Annual Report

2008~2009

DATA FILE

